



秋。クマから身を守る基本



実りの秋、食欲の秋…。クマは、冬眠を前に餌を求めて活発に活動します。

県内の山はクマの生息地ですから、どこの山でもクマと出遭う可能性があります。

クマによる人身被害を防ぐには、「クマと遭わない」「クマを引き寄せない」ことが基本的な対策です。それでも出遭ってしまったら、「興奮しない、させない」ことが重要です。

「クマと遭わない」ために

◆クマの餌が実るところには行かない

ドングリやクリ、ヤマブドウなどが実る林、集落内のカキやイチョウの木がある場所に注意。

◆頻繁に物音や声を出して歩く

鈴や笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら歩く。

◆クマに人の存在を知らせてから外に出る

家の周りにクマがいる場合があるので、外出前は、鈴や笛、大声などで人の存在を知らせる。

◆暗い時間や見通しの悪い時は外出しない

特に川沿いや山林から近い集落では、早朝・夕方・夜間や霧で視界の悪い時の散歩やジョギングを控える。

「クマを引き寄せない」ために

◆人家のまわりにクマの餌になるものを放置しない！

生ゴミやコンポスト、米ぬか、機械油などを放置しない。墓の供物は持ち帰る。

ハチの巣は撤去する。

◆人家の周りの果樹は早めに収穫・伐採する！

カキやクリは早めに収穫する。収穫できない果樹は伐採するか、枝を落として低く管理する。

◆刈り払い等により集落周辺からクマの潜み場をなくす

クマが身を隠せる藪は刈り払い、倉庫・物置等の窓や入り口はしっかり閉める。

クマに遭ってしまったら「興奮しない・させない」

◆とにかく騒がずゆっくり後ずさり！

背中を見せて走って逃げてはいけません！子グマであっても絶対近づかない。

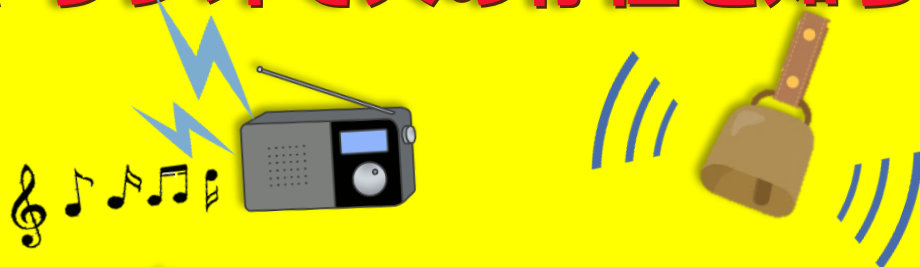
襲われそうになった場合はクマ撃退スプレー（強力な唐辛子スプレー）が有効です。

◆攻撃が避けられないときは急所を守る！

地面に伏せ、両手やリュックなどで首の後ろをガードして頭と首を守る。

あ クマと会わないために

⚠️ すず 鈴やラジオで^{ひと}人の^{そんざい}存在を^し知らせる！



あ クマと会ってしまったら

⚠️ ^{きより}距離があれば、^{あと}ゆっくり後ずさり！



⚠️ ^{おそ}襲ってきたら、^{あたま}頭と^{くび}首を^{まも}守る！



福井県・福井県警察本部

クマの痕跡に注意しましょう！

○糞（一例です。このほかにも、食べ物によって、また体調によって形や色が変わります。）



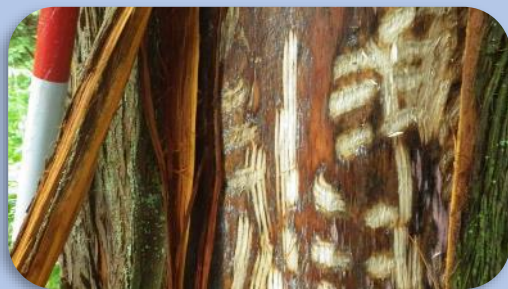
○爪跡



○クマ棚（クマが木に登り木の枝を折ってエサを食べることがあり、折った枝を座布団のように敷いて食べ続けるためにできる樹上の痕跡。）



○クマ剥ぎ



【シカの皮剥ぎと異なるポイント】

- ・ 3～4 筋の歯跡がある
- ・ はがれた樹皮が樹とつながっている

写真：県自然環境課、県自然保護センター

柿の木 見たら

クマに注意！

令和2年の9～11月は、柿などの実を求め、クマが多く出没しました。
実を放置すると、クマが出没し、人身事故につながる恐れがあります。

【人身事故を防ぐには】

❗ 収穫予定のない柿の木は、伐採する

❗ 柿の実は、早めに収穫する

※柿以外にも、ギンナン、クリ、クルミ、生ゴミなどを放置しない

木に爪あとがあったり、
糞がある場合は大変危険。すぐ対策！

※柿の木の周辺での作業は、日中に、複数人で実施しましょう。



5本指の
爪あとが特徴



柿に餌付いたクマの糞は柿色

【秋の事故事例】

- ①令和2年9月30日17時頃（勝山市）
自宅敷地内で草刈りをしていたところ、柿に餌付いたクマに襲われた。
- ②令和2年10月16日14時頃（南越前町）
ギンナンの収穫のために木に近づいたところ、木にいたクマに襲われた。
- ③令和2年10月21日7時頃（福井市）
集落外れの山道をバス停に向かって歩行中、柿に餌付いたクマに襲われた。